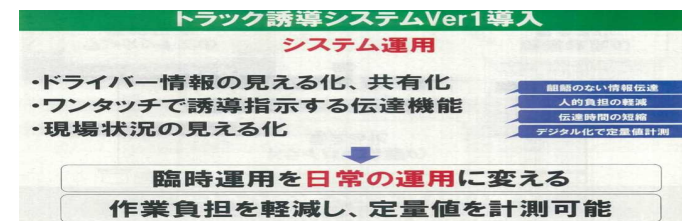


令和元年度より、千葉県内の地域の事情を踏まえた実践的な議論を進めるため、トラック輸送における取引環境やトラック運転手の長時間労働改善に向けた施策に取り組む荷主や運送事業者を好事例として紹介をしており、本年度においてもヒアリングを行った。

○取り組み(トラックの荷待ち時間短縮)

加工食品等の運送を担うトラック事業者において、トラックの荷待ち時間短縮を図るため、モニター情報により車両の優先誘導を行う「トラック誘導システム」を自社開発し導入し、待機時間の削減を実現。更に運用改善を推進している。

- ・ 2018年6月にトラックの荷待ち時間短縮を図るためプロジェクトチームを発足し、システム化・運用改善に向けた検討会にて、課題・要件の洗い出し、関係部署からの意見・ヒアリングを行い、システム化する際の要件定義を抽出。
- ・ 2019年8月にシステム化する前に繁忙期に限定し、運用的な対処により、荷待ち時間短縮にかかるルール確認を行い、情報を蓄積
- ・ システム化する前の繁忙期限定の運用を踏まえ、2019年9月に「トラック誘導システム Ver1」を導入、2020年7月にはより分かりやすい画面レイアウト(Ver. 2)に改修。



●トラック誘導システムの導入効果 (Ver. 2)

導入前と導入後の待機時間



約45分減

●ドライバーからの評価

- > 積み込み地の出発が早くなった
- > 積み込み場が3カ所あるが、巡回先の荷物の積み込みが早くなった



●現場の評価

- > ピッキングフォークへの指示が早くなった
- > 現場に行かなくても指示がすぐに伝わる



- > 待機時間の削減は、時間外労働短縮によるコストの削減にもつながっている。
- > 今後についても、更にシステムの運用改善を行い、更なる待機時間の短縮を行っていく。
- > 今後の取り組みであるVer.3においては補助金の活用を予定している。
(Ver.2.5として既にも実施している一部の取り組みにおいて補助金交付を受けている)



本取り組みについては、現在もヒアリングを実施したトラック事業者において運用改善推進中であり、具体的な取り組みについて、今後協議会で共有していく予定。